

くらしを壊す「大阪都」NO! 市民を守る大阪市へ!!!



地下鉄・市バス民営化の条例案 運動と世論で継続審議に

橋下市長は、地下鉄を2015年4月から民営化すると同時に、2014年3月末で市バスを廃止・民営化するという条例案を提出し、なんとしても成立をと意気込んでいましたが、3月29日の閉会本会議で「継続審議」となりました。維新だけが採択を主張しました。

共産党は岩崎けんた議員が質疑をおこない、民営化案のデタラメぶりを徹底的に明らかにしましたが、橋下市長は5月市議会での成立をねらっており、公明党は委員会で「民営化の方向性については賛同」と明言しました。共産党議員団は、市民の交通権を守る論戦に全力をあげます。



継続審査にする採決の様子(維新のみ着席—白線の内側)

圧倒的多数の住民の願いを背に 住吉市民病院の廃止条例案に反対

北山良三議員は、2015年度末をもって住吉市民病院を廃止するという条例案に断固反対し、現地で建て替え、南部地域で不足している小児・周産期医療の拡充をはかるよう強く求めました。

北山議員は、地域住民が安心して住み続け、街を發展させていくうえで、同病院の廃止は重大な障害をもたらすと批判。公立病院でこそ、将来にわたって小児・周産期医療の継続・拡充が保証され、橋下市長が言う民間病院の誘致で住吉市民病院にとってかわることはできないと強調しました。

7万筆を超える廃止反対署名に象徴される市民の声をふみにじり、住吉市民病院の廃止条例は、維新・公明・自民・みらい(民主系)の賛成で可決されました。



閉会本会議で討論する北山議員



可決されました。

維新・公明・自民・みらい(民主系)によって、

予算案は、若干の附帯決議をつけただけで、

かいはやめるよう主張しました。市民の不安を

あおる「財政難」との口実について、不要地売

却などを意図的に財源に含めていないと指摘。

市民をごまかして負担を求めることは認められ

ないと強調しました。

こはら議員は、橋下市長が提案した予算案は、

「市政改革プラン」の具体化をはじめ、市民のく

らし・教育に悪影響を与える内容が多数組み込

まれており、大阪市の発展どころか大阪市をバ

ラバラにさせる予算だときびしく批判。高速道

路淀川左岸線二期やカジノ構想、夢洲大水深埠

頭など、無駄な大規模開発による公金のムダづ

かいはやめるよう主張しました。市民の不安を

あおる「財政難」との口実について、不要地売

却などを意図的に財源に含めていないと指摘。

市民をごまかして負担を求めることは認められ

ないと強調しました。

こはら孝志議員が、組み替え動議に賛成し、

予算原案に反対する討論をおこないました。

小川陽太議員が、日本共産党議員団を代表

して予算組み替え動議の提案をおこないました。

くらしや子育てを応援し、教育を充実させる予

算を組むとともに、「大阪都構想」「大阪市解体」

への地ならし予算は削除するよう求め、公共事

業は地域密着・地域循環型に切り替えるよう



閉会本会議で討論する左・こはら議員、右・小川議員



予算組み替えを提案 原案には反対を表明

2月15日開会、3月29日閉会で、2013年度の予算案を審議する大阪市民議会がひらかれ、日本共産党大阪市民議団は、市民のくらし・福祉・教育を最優先にした予算への組み替えを求め、全力をあげました。

日本共産党・予算組み替え提案の主な項目

①くらし、福祉、教育を守る

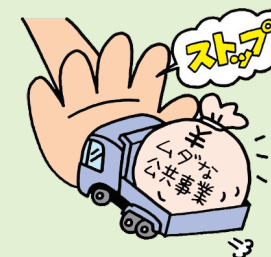
- 国保料の3%引き上げをやめ、引き下げる
- 敬老パスの有料化をやめる
- 上下水道料金福祉措置の廃止をやめる
- 新婚世帯向け家賃補助制度を継続させる
- 保育料の引き上げをやめる
- 小中学校の全学年で35人学級を実施する

②大阪都構想を 先取りする予算を削除する

- 地下鉄・市バス民営化のための予算を削除
- 住吉市民病院の廃止に向けた予算を削除
- 市立幼稚園・保育所の民営化関連予算を削除

③公共事業は大型開発でなく地域密着型へ

- カジノ構想を推進する予算を削除する
- 淀川左岸線2期事業関連予算は削除する
- 住宅・公共施設の耐震化や防災対策を促進する
- 市営住宅や特養ホームを増設する



④文化やスポーツを大切に、環境を守る

- 大阪フィルハーモニー交響楽団や文楽への補助金削減をやめる
- 温暖化対策、PM2.5対策強化の予算拡充

淀川左岸線 2期工事 見直しを



計画消防委員会 尾上やすお てらど月美

てらど議員は、総額約1200億円の内、大阪市が今後769億円を負担する「淀川左岸線2期建設工事」の計画に対し、約4kmにわたり淀川の堤防内にトンネル道路をつくる2期事業には、安全性の問題が指摘されており、災害に強い、安心安全の街づくりを進める観点からも見直しを強く求めました。

(尾上議員は委員長のため質疑はありません)

不必要な港湾整備 中止を



建設港湾委員会 こはら孝志

大阪港では5万トンを超える大型船の寄港が年々減少しているのに、総額176億円、2013年度4億8千万円の事業費で、夢洲C12埠頭を250mも延長する計画の中止を求めました。

しかも、水深16mの高規格C12岸壁には、5万トン以上のコンテナ船は、年間3隻(2012年度実績)しか入港しておらず、ムダな公共事業の典型だと指摘しました。



地下鉄民営化では 市民の足守れない

岩崎けんた 交通水道委員会

市営地下鉄の民営化で、大阪商工会議所提言が、「完全民営化・株式上場」を求めていることは、銀行や生命保険、外国資本など大企業が株を持ち、「実質上、地下鉄を売り渡す」と追及しました。

また、地下鉄と市バスの分離、民営化は新たな市民負担を生み、5年間維持という89バス路線も住民の足を守る保障はないと民営化に反対しました。

みなさんの願い実現へ全力 (予算委員会での主な質疑)

思想・ 良心の 自由守れ



財政総務委員会 小川陽太 山中智子

山中議員は「職員の政治的行為の制限に関する条例」について、国家公務員のピラ配布で無罪となった最高裁判決を示し、思想良心の自由、表現の自由を蹂躪するものであり、見直すべきだと指摘しました。

小川議員は、橋下市政が強引、拙速に設置を進めている地域活動協議会について、地域の実情をふまえ、ていねいな支援につとめるよう強く求めました。



市立幼稚園 民営化するな

井上ひろし 文教経済委員会

市立幼稚園の全園を、2015年度から順次、廃止・民営化する計画に対し、「行政責任の放棄」ときびしく批判しました。

「市立を選んで子どもを通わせている」という保護者の声やねがいを紹介し、セーフティネット(安全網)機能など、今まで公立が果たしてきた役割と歴史に自負をもって行政の責任を果たすべきだと強く主張しました。



高すぎる国保料 引下げを

北山良三 民生保健委員会

「国保の値上げ」に反対し、「むしろ引き下げるべきだ」と強く求めました。

「大阪市の国保料はめっちゃくちゃ安い」と答弁する橋下市長に対して、「市長が言う基準での比較で、全国20の政令市中、上から8番目に高く、平均額より4万円も高い。これでどうして安いと言えるのか」と迫り、市長はまともに答弁できませんでした。

議会終了後、市長は「3%値上げを2%値上げに変更する」と表明しました。

橋下市長は教育への介入をやめよ 教育振興基本計画を変更する議案には反対

井上浩議員は、昨年強行された大阪市の「教育行政基本条例」、にもとづく「教育振興基本計画」は、市長が教育に無制限に介入できるようにするもので、桜宮高校の体育科「入試中止」や教職員の総入れ替え要求はその危険性をうきぼりにするものだと指摘しました。

橋下市長の介入が、現場を混乱させ、多くの人を傷つけたときびしく批判。政治権力は教育を支配してはならないという原則に真っ向から反するものだと主張しましたが、教育振興基本計画の変更についての議案は、維新・公明・自民の賛成で可決されました。



閉会本会議で討論する井上議員

住民が行政に参画しやすい仕組みに 「区政会議」の運営にかかわる条例案に反対



閉会本会議で討論する山中議員

山中智子議員は、「区政会議の運営」にかかわる条例案について、市民を自治の主体、街づくりや地域の課題解決の協働の担い手と明確に位置づけることが大切だと指摘。ところが条例案は、住民自治の精神が見当たらず、事細かに政治的行為を制限するなど、市民への不信さえ感じられるものだと批判しました。

条例案は、維新・公明・自民・みらい(民主系)の賛成で可決されました。

採択 されました 市立幼稚園民営化反対など陳情・決議 市民の願いに背を向ける「維新の会」

橋下市長が進める「市政改革プラン」で、全ての市立幼稚園の民営化が強行されようとしている問題で、これを見直すことを求める保護者からの陳情が、共産党をはじめ、維新以外の全ての会派の賛成で採択されました。

「市立大学と府立大学の拙速な統合撤回を求める」陳情も、維新だけが反対して、採択されました。陳情は、統合案が学生にも市民にもほとんど知られておらず、それぞれの大学に歴史や伝統があると訴えています。

「南港ポートタウンにおけるごみ管路輸送に関する決議」は共産党議員団が提案し、協議の結果維新だけの反対で採択されました。